

2022 年度事業報告

【キーパーソン 21 の活動目的】

キーパーソン 21 は、主に小中学生から大学生世代に対して、様々な社会人との交流の場を作り、自分の将来について考えるきっかけを持つことで、一人ひとりが視野を広げ、社会へ旅立つことの自覚と自立心を醸成していけるよう寄与することを団体の目的としています。また、すべての世代が、わくわくしながら主体的に社会参加することを支援し、一人ひとりを最大限に活かす社会を創造することを目指します。

【2022 年度目標】

1. 一人ひとりが自分を活かしていきいきと生きることのできる HOW（プログラム）をもつ NPO として、豊かで新しい社会の人間力の土台をつくる役割を担っていることを明確にする。
2. その HOW(プログラム)は、親、先生、企業人、行政など地域の大人との対話型のものであり、地域を有機的につなげることができるものである。この繋がりをもって共創造する新しい地域コミュニティのあり方を示していく。
3. 上記 1 と 2 により、一人ひとりの自分らしい幸せは、結果として、まちや国全体に豊かさと幸せをもたらすものである。人の生きる本質を提言提供し、社会課題の根本解決に向かう人づくりのダイナミックチェンジを行うべく、全国において、学校、PTA、行政（自治体）、企業、諸団体と連携し、イノベティブでサステナブルな社会を共創造する。

【2022 年度の重点施策】

1. STEP1～3 にとどまらず、4～5 の事例づくり
2. ホームページリニューアル
3. 子どもわくナビ育成プロジェクトのスタート

【2022 年度活動報告サマリ】

2022 年 3 月末までにプログラムを受けた子どもの数 59,810 人（累計）

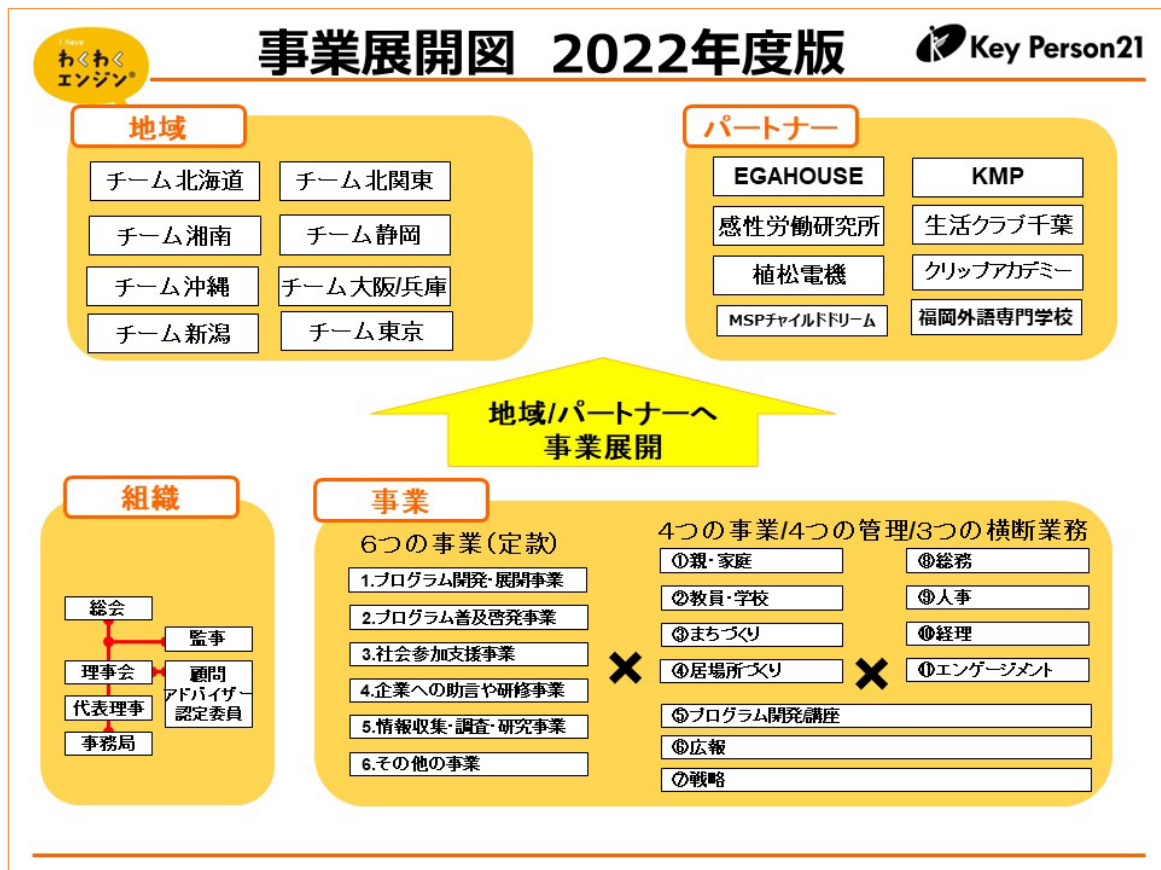
重点施策に対する報告

1. STEP1～3 にとどまらず、STEP 4～5 の事例づくり ※次ページの図参照
わくわくエンジン[®]の発見後、子どもたちの「やってみたい」を応援。地域でわくわくエンジンをベースに繋がる地域コミュニティが創出するきっかけを作ることができた。
(宇和島市、川崎市宮内中学校、川崎市久本小学校、オンラインですきなものビンゴ)
2. ホームページリニューアル
ホームページの更新は、各活動の報告にとどまり、リニューアルに足る言語化に至らなかった。
現在の中期計画策定の過程で、キーパーソンのありたい姿と活動の方向性の確定後へ持ち越しとなった。
3. 子どもわくナビ育成プロジェクトのスタート
 - ・ 豊島区立明豊中学校との連携プロジェクトにて行った。
 - ・ 全国 11 名の中高生を対象に、経産省と富士通連携したプロジェクトにて行った。

【活動の STEP イメージ図】



【事業展開図】



事業報告 目次

【事業部門】

(1) 特定非営利活動に係る事業

① キャリアプログラムの開発、展開事業

- 1) プログラム開発事業 <事業展開図⑤プログラム開発>
- 2) プログラム展開事業 <事業展開図①親・家庭> <事業展開図②教員・学校>

② キャリアプログラムの普及啓発事業

- 1) わくわくナビゲーター養成講座および講師育成 <事業展開図⑤プログラム開発>
- 2) 全国への普及 <事業展開図③まちづくり>
- 3) 広報、コミュニケーション活動 <事業展開図⑥広報>

③ 社会参加支援事業

- 1) 川崎市学習支援・居場所づくり事業（なかわく/こすわく） <事業展開図④居場所づくり・委託事業>
- 2) 川崎市寺子屋事業 <事業展開図④居場所づくり・委託事業>

④ 人材育成を目的とした、企業、団体等への助言、研修事業 <事業展開図①②③④⑤⑥⑦>

⑤ 教育に係わる情報収集、調査研究及び発信事業 <事業展開図⑥広報・⑦戦略>

⑥ その他目的達成のために必要な事業 会員力最大化 <事業展開図⑩エンゲージメント>

(2) その他の事業

① 寄贈品、グッズなどの物品販売

② 著作、出版物の制作・販売

③ 会員のサークル活動支援事業

【管理部門】

1) 財政基盤を構築する <事業展開図⑦戦略⑩戦略>

2) 組織改革・基盤強化 <事業展開図⑧総務⑨経理⑩人事 組織改革・基盤強化>

3) 戦略を立案する <事業展開図⑩戦略>

【事業部門】

（１） 特定非営利活動に係る事業

① キャリアプログラムの開発、展開事業

- ◆内容：キャリア開発プログラムの開発および展開事業
- ◆日時：「2022 年度事業実施実績一覧表（本部実施分）」P.8-10 参照
- ◆場所：同上
- ◆従業者人数：のべ 1,248 名
 会員：462 名（個人会員：452 名、パートナー会員：7 名、学生会員：3 名）、
 非会員：849 名（協賛企業社員：328 名、地域サポーター：214 名、応援者：76 名、
 先生・教育委員会：130 名、見学・取材・その他：38 名）
- ◆対象者：1,780 名（子ども：1,726 名、大人：54 名）
- ◆収益金額：¥7,498,372 費用金額：¥5,736,796

<川崎市内におけるプロジェクトについては下記の通り>

- ◆内容：「川崎未来まちづくりプロジェクト」関連事業
- ◆日時：「2022 年度事業実施実績一覧表（本部実施分）」P.8-10 参照
- ◆場所：同上
- ◆従業者人数：のべ 583 名
 会員：166 名（個人会員：164 名、パートナー会員：2 名）
 非会員：417 名（協賛企業社員：232 名、地域サポーター：62 名、応援者：25 名、先生・
 教育委員会：85 名、見学・取材・その他：13 名）]
- ◆対象者（子ども）：505 名

1) プログラム開発展開事業 <事業展開図 ⑤プログラム開発>

■ 22 年度のテーマ

各事業領域のニーズに合わせたプログラムの開発を行う

■ 活動項目

- ① 「わくわく先生プロジェクト」を汎用性のあるものにする
- ② オンラインわくナビ育成にあたり、養成講座未受講の方への補助講座を検討する
- ③ 各地での STEP4～5 の事例を開発する

■ 活動報告サマリ

1. 「わくわく先生プロジェクト」は川崎市立宮内中学校において行った。
2. オンラインわくナビ育成は、リアル対面でのプログラム受講や現場体験なしでも受講できるよう、オンライン講座受講のみで行うコースをスタートした。
3. 各地での STEP4～5 の事例開発は、宇和島市のホリバタ、宮内中学校、久本小学校、「オンラインですき

なものビンゴ」の4か所において開発実施した。

4. ジュニアわくわくナビゲーターを26名育成した。

★明豊中ジュニアわくわくナビゲーター15名 → ①2) <豊島区立明豊中プロジェクト> 参照

★春休みジュニアわくわくナビゲータープロジェクト11名

認定NPO法人くさつ未来プロジェクト(KMP)およびキーパーソン21会員の子どもたちが滋賀県、京都府、新潟県、東京から集い、3月末の2日間にわたり育成トレーニングからプログラム実践までを行った。

- ・一日目午前：「おもしろい仕事人に会いに行こう！」経済産業省職員3名の話をついた。
- ・一日目午後：ジュニアわくわくナビゲーター育成トレーニングを4時間行った。
- ・二日目午前：子どもたちでリハーサル
- ・二日目午後：富士通株式会社にて社内ツアー
「すきなものビンゴ」によって、ジュニアわくナビが富士通社員の皆さまのわくわくエンジンをジュニアわくナビたちが引き出した。

2) 親/家庭向けプログラム実施 <事業展開図① 親・家庭>

■22年度のテーマ

オンラインプログラムにおいて、子どもの「やってみたい！」をやることができるように応援し、発表・報告することで成長と自立を促す仕組みをつくる

■22年度の目標

- ①家族の対話からはじまる家族の成長へ～オンラインプログラムの進化と事業化
- ②保護者主体の持続的なモデル事例づくり～有明・明豊中の実践と報告へ

■活動報告サマリ

1. オンラインプログラムの通年通常開催と、「わくわくエンジン[®]活用倶楽部」を6名の保護者を対象に3日にわたって開催した。親自身の気づきと家族の成長の応援を行った。
2. 有明プロジェクトは6年目となり、年間の学校のカリキュラムに組み込まれ、保護者の参加も安定的になってきた。
3. 豊島区立明豊中学校では子どもたちの主体性を育む「ジュニアわくわくナビゲーター」を小中連携事業として学校が挑戦し、保護者たちがサポーターとして協力して実行した。

■実績

- ①-1. 「オンラインですきなものビンゴ」のプログラムを通年にわたり常時開催体制を整え、ペライチ(告知ページ)を10月にリリースした。
 - ・参加日程の幅が広がり参加者は申し込みしやすくなったと思われる。
 - ・2022年度実施は23組69名(子ども：35名 大人：34名)
- ①-2. わくわくエンジン[®]活用倶楽部(8月～2023/1月)プログラムを体験した6名の保護者が参加。オンライン3回(①キックオフ②進捗③報告会)とFacebookグループで、互いを応援しあい、報告会ではわくわくエンジン[®]を軸にご自身の気づきや、子どもとの関わり方の変化を熱く語り合った。

- ② 保護者主体の持続的なモデル事例づくりを行った。

<江東区有明プロジェクト>

9月オンライン講演会→10月サポーター研修→11月実施

- 有明西学園 6年生児童 109名 / 有明小 6年生児童 44名 計 153名
- 有明サポーター 30名 (リコーリースより4名含む) + KP21 会員 11名

6年目になり学校とサポーターの連携が進む。卒業時の発表までカリキュラム化されている。活動の認知が広がり、保護者の勤務先の社会活動支援寄付と、リコーリースの寄付を得た。

<豊島区立明豊中プロジェクト>

(1) 学年全体への実施

昨年度コロナの影響で実施できなかった2年生 149名に対し5月にプログラムを実施した。

9月 PTA 主催オンライン講演会→10月サポーター研修→12月実施

明豊サポーター22名 + KP21 会員 12名

(2) 小中連携事業：「ジュニアわくわくナビゲータープロジェクト」

プログラムを体験した中 2・3 の 15名が、夏休みに研修を受け、自らがわくナビとなり、9月に「わくわくエンジン発見教室」と称して小学生に「すきなものビンゴ」を実施した。

対象：小学生 17名

ジュニアわくナビ 15名 + 地域サポーター 8名 + KP21 会員 5名

子どもたちが装飾や演出・司会等を主体的に取り組み、全校集会で堂々と報告した。

<寺子屋事業の親子体験学習実施>

「やってみたいをやる！」については→ ③ 2) 寺子屋事業参照

3) 学校におけるプログラム実施 <事業展開図 ② 教員・学校>

■ 22年度のテーマ

わくわくエンジン®発見！プラスアルファの実践事例づくり

■ 22年度の目標

- ① やりたいを応援！STEP1-5の学校での実践事例づくり
- ② 先生がキーパーソン！先生のわくわくエンジン®理解促進
- ③ わくわくエンジン®から始まる「探究」学習事例づくり
- ④ 学校の個性にあわせた進路サポートプログラム対応…「定時制」「酪農」
- ⑤ 企業の子ども応援プロジェクト：意味付けの強化「コミュニティスクール」
- ⑥ わくわくの見える化＝効果測定

■ 活動報告サマリ

1. 「やってみたい！」を応援するプロジェクトを川崎でのプロジェクトを中心に実践した（宮内中学校・久本小学校）
2. 学校と子どもたちの特性にあわせてプログラムのアレンジを行った（高津高校定時制「進路サポートプログラム」、栃木県立農業大学校「酪農」お仕事マップ）
3. 企業の子ども応援プロジェクトはコロナ収束傾向とともにオフィスでの研修、学校での実施ができるようになった。

■実績

①「川崎未来まちづくりプロジェクト」における STEP1～5 の事例

川崎市中原区と高津区において、「わくわくする自分から始まる～川崎未来まちづくりプロジェクト」を宮内中学校、久本小学校を中心に、地元企業、川崎市教育委員会と連携してスタートした。

<川崎市立宮内中学校×富士通株式会社×教育委員会×キーパーソン 21>

富士通株式会社と連携し、7/5 富士通において開催のキックオフイベントからスタートした。

8/23、8/24、10/20 には社員の皆さまと地域の皆さま約 50 名を超える皆さまに事前研修を 3 回にわたって開催。生徒たちのわくわくエンジンを引き出す力をつけた。

10/18 には富士通社員 5 名が「おもしろい仕事人として」それぞれのわくわくエンジンと仕事と生き方を語った。

11/15、11/22 に 2 学年 6 クラスの 235 名の生徒と対話を通して意欲の源泉わくわくエンジンを引き出した。その後も授業を通して生徒たちの「やってみよう！」をやってみることをチャレンジし、川崎市の環境に関わる職員と社員が生徒たちに話すことで、生徒たちの目が自分のわくわくエンジンとともに「まち」へも向いていき、生徒全員が自分の考えを発表した。

<川崎市立久本小学校×株式会社エヌアセット、株式会社シーエスデー>

久本小学校の 6 学年 5 クラス 157 名を対象に、株式会社エヌアセット、株式会社シーエスデー株式会社ケイエスピー、株式会社ホテルケイエスピー、NPO セルフ、などの地元企業や NPO など多くの方々の協力を得て、STEP 4 を実行した。

② 上記宮内中学校のプロジェクトにおいて、9/20、2 学年の先生 7 名全員が自ら「おもしろい仕事人」となって、自身のわくわくエンジンをベースに、教員の仕事と生き方を生徒に伝えた。

③ わくわくエンジン[®]から始まる「探究」学習事例づくり

<関西大倉学園> 5/27 すきなものビンゴを 2 年生 127 名に大阪・兵庫チームを中心に、事務局・KMP で実施、夏休み課題「すきたん」（すきを探究する）につなげて展開された。

④ 学校の個性にあわせた進路サポートプログラム対応

<高津高校定時制『進路サポートプログラム』>

- 4 年生 30 名にむけて 6/15・22・29 の 3 週連続で「ビンゴ→お仕事マップ→可能性探究」を段階的に実施。会員のべ 52 名が参加。

<全農プロジェクト>

- 栃木県農業大学校にて 1/25 「おもしろい仕事人」と「すきなものビンゴ & 畜産お仕事マップ」を行った。
対象：1-2 年生 29 名 J A 全農社員 5 名 会員 3 名
- 女性酪農家として株式会社マドリン代表取締役 桜木円佳さんが登壇

⑤ 企業の子ども応援プロジェクト

<CASIO 計算機株式会社>

2016 年より 6 年間で累計 22 回のべ 189 名の社員が参加。

今年度も渋谷区内の 3 校にて展開。研修をカシオ本社にて 3 年ぶりに実施した。

1. 渋谷本町 6 年生:「おもしろい仕事人がやってくる」(9/29) 社員 5 名 会員 4 名

2. 鉢山中 1 年「おもしろい仕事人がやってくる」、「すきなものビンゴ&お仕事マップ」(11/8) 社員 7 名
 会員 9 名

3. 広尾中 1 年「すきなものビンゴ&お仕事マップ」(11/18) 社員 10 名 会員 9 名

<港区立六本木中学校>

「おもしろい仕事人がやってくる」、「すきなものビンゴ&お仕事マップ」を、中学 2 年生に実施した。Dream
 Compass 4 名 ヘルリッツ・ジャパン社員 5 名 会員 13 名

おもしろい仕事人：(株)Dream Compass 代表取締役 平野将之さん

<WOWOW ×港区立赤坂中>「おもしろい仕事人がやってくる」、「すきなものビンゴ&お仕事マップ」
 (1/14) を本社で実施。WOWOW 社員 8 名、会員 10 名参加

<川崎市立新城小学校×ジエクト株式会社>

2/16 新城小学校 6 年生 4 クラス「おもしろい仕事人：ジエクト株式会社 市川功一社長

「すきなものビンゴ&お仕事マップ」を社員 5 名、富士通社員 5 名、保護者 1 名、川崎市経済労働局 2
 名、会員 9 名、合計 22 名、地域みんなで子どもたちを応援した。

その他の実施

<川崎市立川崎中>：1 年生 4 クラスに「おもしろい仕事人がやってくる」講演を、11 月に実施
 会員 4 名が各クラスで登壇 →会員向けに 1/8 オンラインで講演会を実施。

[2022 年度事業実施実績一覧表（本部実施分）]

対象団体名	区分／対象	学年	児童 生徒数	大人 受講 者数	開催 日時	実施 形態	プログラム名	関わ った 大人 の数	協力・協賛・関係団体
豊島区立 明豊中学校	中学校	2	149	0	5/10	研修	教員オリエン	13	
					5/19	実施	すきなものビンゴ&お仕事マップ	36	
私立関西大 倉中学校	中学校	2	136	0	5/27	実施	すきなものビンゴ	18	
川崎市立 高津高等学 校定時制	高等学校	4	31	0	6/15	実施	すきなものビンゴ&わくわくエンジン 発見	19	
					6/22	実施	お仕事マップ&わくわくエンジン発見	18	
					6/29	実施	やってみたいことシート、やってみた いお仕事シート	18	
宇和島市わく わく未来の架 橋事業	その他	-	51	0	7/30	研修	すきなものビンゴ&お仕事マップ	3	宇和島青年会議所 宇 和島市教育委員会 共同開催
					7/31	実施	すきなものビンゴ&お仕事マップ やりたい、やってみたいを応援する	26	宇和島青年会議所 宇 和島市教育委員会 共同開催
明豊中ジュ ニアわくナビ	小学校	5~6	17	0	7/21	研修	ジュニアわくわくナビゲーター研修	9	
					8/26	研修	ジュニアわくわくナビゲーター研修	5	
					9/1	研修	教員研修	24	
					9/3	実施	すきなものビンゴ	22	
渋谷区立 渋谷本町学 園	小学校	6	105	0	9/14	研修	おもしろい仕事人がやってくる！ おもしろい仕事人新聞	8	カシオ計算機株式会社
					9/29	実施	おもしろい仕事人がやってくる！ おもしろい仕事人新聞	9	カシオ計算機株式会社
川崎市立 川崎中学校	中学校	1	132	0	11/2	実施	おもしろい仕事人がやってくる！ おもしろい仕事人新聞	10	
渋谷区立 鉢山中学校	中学校	1	36	0	10/26	研修	おもしろい仕事人がやってくる！ すきなものビンゴ&お仕事マップ	16	カシオ計算機株式会社

					11/8	実施	おもしろい仕事人がやってくる！ すきなものビンゴ&お仕事マップ	16	カシオ計算機株式会社
有明小学校・ 有明西学園	小学校	-	-	0	9/10	講演	『わくわくエンジン®』講演会	25	リコーリース株式会社 三菱 UFJ 銀行
					10/8	研修	サポーター研修	30	リコーリース株式会社 三菱 UFJ 銀行
有明小学校	小学校	6	44	0	11/11	実施	すきなものビンゴ&お仕事マップ	28	リコーリース株式会社 三菱 UFJ 銀行
有明西学園	小学校	6	109	0	11/11	実施	すきなものビンゴ&お仕事マップ	31	リコーリース株式会社 三菱 UFJ 銀行
渋谷区立 広尾中学校	中学校	1	63	0	11/18	実施	すきなものビンゴ&お仕事マップ	19	カシオ計算機株式会社
港区立 六本木中 学校	中学校	2	69	0	11/19	研修	おもしろい仕事人がやってくる！ すきなものビンゴ&お仕事マップ	11	株式会社 Dream Compass (HIUZEROCKETS), ペルリッツ・ジャパン株 式会社
					11/24	実施	おもしろい仕事人がやってくる！ すきなものビンゴ&お仕事マップ	22	株式会社 Dream Compass (HIU ZEROCKETS), ペルリッツ・ジャパン株 式会社
豊島区立 明豊中学校	中学校	1	148	0	9/16	講演	オンライン講演会	18	
					10/29	研修	サポーター研修	20	
					12/1	実施	すきなものビンゴ&お仕事マップ	40	
川崎市立 久本小学 校	小学校	6	157	0	7/22	研修	教員研修	8	株式会社エヌアセット 株式会社シーエスデー
					10/24	研修	地域サポーター研修(エヌアセット含 む)	14	株式会社エヌアセット 株式会社シーエスデー
					10/27	実施	おもしろい仕事人がやってくる！ すきなものビンゴ&お仕事マップ	32	株式会社エヌアセット 株式会社シーエスデー
					11/16	実施	やってみたいを考えよう	8	
					11/17	実施	やってみたいを考えよう	9	
					1/17	実施	やってみたいを応援	15	株式会社 KSP
					1/19	実施	やってみたいを応援	12	NPO セルフ
					1/20	実施	やってみたいを応援	16	ジェクト株式会社 株式会社エヌアセット ホテル KSP
川崎市立 宮内中 学校	中学校	2	235	0	4/27	研修	プログラム体験(富士通、先生)	16	富士通株式会社
					7/5	実施	キックオフイベント(STEP1)	68	富士通株式会社
					8/23	研修	サポーター研修	46	富士通株式会社
					8/24	研修	サポーター研修	32	富士通株式会社
					9/20	実施	おもしろい仕事人がやってくる！(先 生版)	25	富士通株式会社
					10/18	実施	おもしろい仕事人がやってくる！(富 士通)	30	富士通株式会社
					10/20	研修	サポーター研修	6	富士通株式会社
					11/15	実施	すきなものビンゴ&お仕事マップ	63	富士通株式会社
					11/22	実施	すきなものビンゴ&お仕事マップ	62	富士通株式会社
					12/13	実施	キャリア在り方生き方教育研究授業 発表	10	富士通株式会社
					1/31	実施	まちづくりワークショップ(川崎市&富 士通・講演)	13	富士通株式会社
					2/7	実施	まちづくりワークショップ	13	富士通株式会社
2/14	実施	発表会	16	富士通株式会社					
川崎市立	小学校	6	113	0	12/23	研修	教員研修	6	ジェクト株式会社

新城小学校					2/9	研修	企業/地域向け研修	13	ジェクト株式会社
					2/16	実施	おもしろい仕事人がやってくる！ すきなものビンゴ&お仕事マップ	38	ジェクト株式会社
港区立 赤坂中学校	中学校	1	49	0	1/11	研修	おもしろい仕事人がやってくる！ すきなものビンゴ&お仕事マップ	11	株式会社 WOWOW
					1/14	実施	おもしろい仕事人がやってくる！ すきなものビンゴ&お仕事マップ	18	株式会社 WOWOW
栃木県立 農業大学校	大学	1~2	29	0	1/25	実施	おもしろい仕事人がやってくる！ すきなものビンゴ&お仕事マップ	9	JA 農協
家族で発 見！わくわく エンジン	親子	4, 6	7	8	2/26	実施	すきなものビンゴ	4	
ジュニアわく ナビ養成プロ ジェクト	その他	中1~ 高	11	12	3/27	実施	おもしろい仕事人がやってくる！	11	経済産業省 富士通株式会社
					3/27	研修	すきなものビンゴ	6	経済産業省 富士通株式会社
					3/28	実施	すきなものビンゴ	19	経済産業省 富士通株式会社
オンラインで すきなものビ ンゴ	その他		35	34	通年	実施	すきなものビンゴ	46	
わくわくエン ジン活用倶楽 部	その他		-	0	8/27	その他	わくわくエンジン活用倶楽部	9	
					11/12	その他	わくわくエンジン活用倶楽部	9	
					1/22	その他	わくわくエンジン活用倶楽部	9	
合計			1726	54				1248	

② キャリアプログラムの普及啓発事業

◆内容：キャリアプログラムの普及啓発事業

◆日時：P.11-15 参照

「2022 年度 わくわくナビゲーター養成講座開催一覧」

「2022 年度事業実施実績一覧表（地域チーム実施分）」

「2022 年度事業実施実績一覧表（パートナー実施分）」

◆場所：同上

◆従業者人数：のべ 624 名

会員：532 名（個人会員：386 名、パートナー会員：145 名、学生会員：1 名）

非会員：92 名（協賛企業社員：0 名、地域サポーター：54 名

応援者：1 名、先生・教育委員会：4 名、見学・取材・その他：33 名）]

◆対象者：2,281 名（子ども：2,142 名、大人：139 名）

◆収益金額：¥7,916,368 費用金額：¥10,170,630

1) わくわくナビゲーター養成講座および講師育成 <事業展開図 ⑤プログラム開発>

■22 年度のテーマ

プログラムを通して、人間力の土台をつくる

■22 年度の目標

子どもわくナビを育成する

■活動サマリ

1. わくわくナビゲーター講師の育成

講師育成講座の流れを明文化し、周知した。

講師育成講座を開講し、事務局員 3 名が受講し、内 2 名が講師養成講座の一貫で、講座に登壇

2. わくわくナビゲーター1級の養成

わくわくナビゲーター1級を養成し、認定委員会を経て、2名が認定された。

3. わくわくナビゲーター養成講座の開催（川崎本部開催）

- すきなものビンゴ&お仕事マップ（5回）
- コミュニケーションゲーム（1回）

4. オンラインわくわくナビゲーター育成コースは、2023年4月から開講のため、2022年度は開講せず。

5. 認定委員会の開催（2回）

- 認定委員会を2回開催。わくナビ1級2名、オンラインわくナビ1級6名が認定された。
- 講師養成講座受講中2名に関して、2023年4月末日までに最終レポート、講師申請書提出で講師認定となることとなった。

■実績

[2022年度 わくわくナビゲーター養成講座開催一覧]

・すきなものビンゴ&お仕事マップ 5回開催

	開催日	講座内容		参加人数	開催場所	
137回	5月14日	体験・引き出し	体験	13	江東区東大島文化センター	
			引き出し	13		
	5月15日	メイン	メイン	12	江東区東大島文化センター	
138回	7月2日	体験・引き出し	体験	13	江東区東大島文化センター	
			引き出し	13		
	7月3日	メイン	メイン	12	江東区東大島文化センター	
139回	10月1日	体験・引き出し	体験	5	江東区東大島文化センター	
			引き出し	6		
	10月2日	メイン	メイン	5	江東区東大島文化センター	
140回	12月3日	体験・引き出し	体験	3	江東区森下文化センター	
			引き出し	4		
	12月4日	メイン	メイン	3	江東区森下文化センター	
141回	2月18日	体験・引き出し	体験	3	江東区東大島文化センター	
			引き出し	2		
	2月19日	メイン	メイン	2	江東区東大島文化センター	
延べ参加数				109		
新規わくナビ ビンゴ&マップ			4級	1	累計	1
			3級	8	累計	63
			2級	34	累計	170
			1級	0	累計	0

・コミュニケーションゲーム 1回開催

142回	3月5日	体験・引き出し	体験	12	江東区東大島文化センター
			引き出し	12	
延べ参加数				24	

新規わくナビ コミュニケーションゲーム	4 級	0	累計
	3 級	12	累計
	2 級	0	累計
	1 級	0	累計

■効果

プログラム実施現場が全国で増え、サポーターとして活動する機会が増えた。

そのため、養成講座受講促進や1級認定申請に繋がった。

- すきなものビンゴ&お仕事マップ わくわくナビゲーターの継続的な養成。
- コロナ禍にて中断していたコミュニケーションゲームのわくわくナビゲーター養成講座を2年ぶりに開講。2023年度のコミュニケーションゲームの実施に繋げることができる。
- ジュニアわくわくナビゲーター 26 名誕生
 - 明豊中ジュニアわくわくナビゲーター15 名 → ① 2) <豊島区立明豊中プロジェクト> 参照
 - 春休みジュニアわくわくナビゲータープロジェクト
KMP およびキーパーソン 21 会員の子どもたち 11 名が滋賀県、京都府、新潟県、東京から集い 3 月末の 2 日間にわたり育成トレーニングとプログラム実践まで豊かな経験をした。
 - ★ 経済産業省 おもしろい仕事人に会いに行こう！
 - ★ ジュニアわくわくナビゲーター育成トレーニング
 - ★ 富士通株式会社にて「すきなものビンゴ」

2) 地域チーム/パートナーによるプログラム実施 <事業展開図 ③まちづくり>

■ 22 年度のテーマ

各地域の会員や地域チーム、パートナーが自立的に活動できるよう推進する

■ 22 年度の目標

- ①事務局に集まる各地からの活動にまつわる知見を地域チームやパートナーと共有し、持続可能な活動を促進させる。(情報のブラッシュアップ⇔共有する循環の場をつくる)
- ②地域で活動したい人がスムーズに開始できるための情報の整理をする
- ③地域教育システム導入事例を増やす
- ④わくわくエンジン®がまちづくりにつながる事例を発信する(広報と運動)

■活動報告サマリ

1. 地域で自律的に活動できる支援として、活動紹介資料、営業資料を整理、ブラッシュアップし提供、適時目的に合わせ勉強会を開催した。
2. STEP 1 ~ 5 の事務局でおこなった実施をモデルとして、キーパーソン 21 の日!、地域チーム戦略 MTG (2 回/年)、年度末の振り返り会などで共有した。
3. 地域チームにおいては、プログラム実施をゴールとせず、各地、各学校でプログラムを活かす STEP4 を見据えながら、どのように地域教育システムに導入できるかを考える場面が増えていった。
4. パートナーに関しては、年間 3 回あるフォローアップの活用いただき、既存メニュー以外でも各パートナーのニーズに合わせた具体的な提案を随時相談し進めている。

■実績

- プロジェクトマネージャー講座 2 回実施。プロジェクトマネージャーの理解が深まったと好評。各地で依頼者との信頼が深まり、リピートでの依頼が増えている。
- 地域チームメンバー対象の戦略ミーティング 2 回実施。事務局や他地域の好事例が共有され、資料やデータの共有化が進んだ。
- 地域チーム主導による STEP2 地域サポーターを誕生させるプロジェクトの取り組みが進む。チーム北関東（自由学園）チーム大阪兵庫（神戸市）
- 地域や学校、コミュニティの為に協力してくれる地域サポーターの誕生は、プログラム実施の充実のために重要な位置づけとなった。今後も地域チームやパートナーを軸とした地域サポーターを誕生させるプロジェクトを積極的に進める。
- STEP4 子どもたちの「やってみたい！」を応援するモデルを愛媛県宇和島市プロジェクト、川崎市プロジェクト（宮内中学校、久本中学校）で実施。子どもたちの「やってみたい」の一步目を地域やコミュニティの大人が応援する取り組みを実施。地域チームではチーム大阪兵庫で親子実施参加の親子に対して、またプログラム実施を行った中学校の生徒を対象に実施。パートナーのくさつ未来プロジェクトも引き続きプログラム実施を行った子どもたちの「やってみたい」への伴走を行い、事例を積み重ねている。
- ゴウツわくわくプロジェクト（島根県江津市）は、市内の小学校 7 校全への実施を達成した。

■効果

設立して複数年となっている地域チーム、パートナーの「やってみたい」の言語化が進み、より事案が深まり、個別ミーティングの機会が増えた。地域からのもっと活動を伝えたいという気持ちから、プロジェクトマネージャー講座、説明会の場でのエバンジェリストの挑戦、地域チームごとの戦略ミーティング、キーパーソン 21 の日！への参加などチーム活動の活性化への機会が増えた。各地域チームのニーズからさらに普及の仕組みが発展するよう、提案資料の整理や全体共有を行った。

地域チームについては、メンバー主導でプロジェクトを立ち上げ、会員だけの取り組みにとどまらず、さらに多くの地域市民の協力を得て、巻き込む為のチャレンジが続いている。全地域チームで予算化してプロジェクトが進むようになってきたのは地域からの信頼が重なってきている証であろう。

[2022 年度事業実施実績一覧表（地域チーム実施分）]

開催日時	実施研修講演	地域チーム名	対象団体名（イベント名・会場など）	区分／対象	学年	児童生徒数	大人受講者数	プログラム名	関わった大人の数	協力団体
4/3	実施	東京	親子・家族（日野かわせみハウス）	親子	-	22	20	すきなものビンゴ&わくわくエンジン発見	15	
5/6	実施	にいがた	新潟県立白根高校	高等学校	2	55	0	すきなものビンゴ&わくわくエンジン発見	8	
5/8	実施	にいがた	新潟清心女子中学校	中学校	1~3	63	0	すきなものビンゴ&わくわくエンジン発見	10	
6/7	実施	大阪兵庫	大津市立富士見小学校	小学校	6	67	0	オリジナル（講演、キャリアインタビュー、ワーク）	6	
6/11	実施	にいがた	親子・家族（新潟日報カルチャースクール）	親子	4	2	2	すきなものビンゴ&わくわくエンジン発見	4	
6/14	実施	静岡	富士市立元吉原小学校	小学校	6	48	0	すきなものビンゴ&お仕事マップ	15	
7/16	実施	静岡	子ども（中高生 NPO 体験セミナー・プラザきくる）	その他	-	60	0	すきなものビンゴ&わくわくエンジン発見	15	
7/24	実施	大阪兵庫	親子（茨木市民活動センター）	親子	-	3	2	すきなものビンゴ	5	

8/6	実施	にいがた	親子・家族（新潟日報カルチャースクール）	親子	-	3	0	すきなものビンゴ	2	新潟日報
8/7	実施	静岡	子ども（中高生ボランティア体験入門講座）	その他	-	22	0	すきなものビンゴ&お仕事マップ	13	
9/13	実施	にいがた	新潟市立関屋小学校	小学校	5	35	20	わくわくエンジン発見	7	
9/22	実施	にいがた	新潟市立阿賀小学校	小学校	6	44	0	すきなものビンゴ&わくわくエンジン発見	4	
9/22	実施	静岡	富士市立富士川第二小学校	小学校	6	52	0	すきなものビンゴ&お仕事マップ	17	
9/26 9/27	実施	にいがた	新潟市立大形小学校	小学校	6	136	0	すきなものビンゴ&わくわくエンジン発見	7	
								すきなものビンゴ&わくわくエンジン発見	8	
10/6	実施	東京	練馬区石神井南中学校	中学校	2	108	0	すきなものビンゴ&お仕事マップ 大人へのインタビュー	17	
10/14	実施	湘南	茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校	小学校	6	136	0	すきなものビンゴ	24	
10/15	研修	大阪 兵庫	神戸わくわくサポーター	-	-	-	0	すきなものビンゴ&お仕事マップ	21	
10/19 11/16	実施	にいがた	新潟市立明鏡高等学校 （昼間部）	高等学校	1	104	0	すきなものビンゴ&わくわくエンジン発見	5	新潟市高等学校教育コンソーシアム
								すきなものビンゴ	6	新潟市高等学校教育コンソーシアム
10/22 11/12 12/10	実施	にいがた	坂井輪ひまわりクラブ	小学校	-	19	0	すきなものビンゴ&わくわくエンジン発見	5	
								「すきなものビンゴⅡ」「わくわくアクション・さいしょの一步」	8	
								「すきってどんな気持ち？」発表&哲学対話	8	
10/29	実施	北関東	自由学園最高学部	大学	1	25	0	すきなものビンゴ&お仕事マップ	13	
11/2 12/14	実施	にいがた	新潟市立明鏡高等学校 （夜間部）	高等学校	-	13	0	すきなものビンゴ&わくわくエンジン発見	6	新潟市高等学校教育コンソーシアム
								すきなものビンゴ	5	新潟市高等学校教育コンソーシアム
11/4	実施	大阪 兵庫	神戸市立長田中学校	中学校	2	111	0	すきなものビンゴ&お仕事マップ	25	
11/17	実施	湘南	寒川町立寒川東中学校	中学校	3	40	0	すきなものビンゴ	12	
11/23	実施	にいがた	夫婦と子（新潟テルサ）	親子	-	10	20	すきなものビンゴ	4	
11/25	実施	東京	町田市立小山田中学校	中学校	2	149	0	すきなものビンゴ&お仕事マップ	14	
12/6	実施	大阪 兵庫	神戸市立駒ヶ林中学校	中学校	2	74	0	すきなものビンゴ&お仕事マップ	23	
12/26	実施	北海道	会員家族・紹介者（エルプラザ音楽スタジオ）	-	-	8	1	すきなものビンゴ&お仕事マップ	3	
2/5	研修	大阪 兵庫	神戸わくわくサポーター	-	-	-	0	すきなものビンゴ&お仕事マップ	11	
2/16	実施	湘南	寒川町立南小学校	小学校	6	92	0	すきなものビンゴ	11	
2/24	実施	大阪 兵庫	大津市立富士見小学校	小学校	6	67	0	すきなものビンゴ&お仕事マップ	22	株式会社高栄ホーム
2/27	実施	大阪 兵庫	神戸市立駒ヶ林小学校	小学校	6	64	0	すきなものビンゴ&お仕事マップ	21	
3/2	実施	湘南	横浜市立小田中学校	中学校	1	106	0	すきなものビンゴ&お仕事マップ	25	

3/25	実施	静岡	長泉公民館	その他	中 1~ 高	6	1		6
合計						1744	66		431

[2022 年度事業実施実績一覧表（パートナー実施分）]

開催日時	実施研修講演	都道府県	パートナー	対象団体名（イベント名・会場など）	区分／対象	学年	児童生徒数	大人受講者数	プログラム名	関わった大人の数
5/12	実施	福岡	福岡外語	福岡外語専門学校	その他	-	21	0	すきなものビンゴ&お仕事マップ	2
7/18	実施	滋賀	KMP	子ども・児童養護施設職員（滋賀県社協キャリアアップセミナー）	その他	-	32	19	すきなものビンゴ&お仕事マップ	17
8/16	実施	島根	ゴウツ	島根県立江津高校	高等学校	1	1	1	すきなものビンゴ&お仕事マップ	5
10/10	研修	千葉	生活クラブ千葉	千葉県立生浜高等学校	-	-	-	0	サポーター研修	10
10/11	実施	島根	ゴウツ	江津市立郷田小学校	小学校	6	11	0	すきなものビンゴ&お仕事マップ	10
11/30	実施	千葉	生活クラブ千葉	千葉県立生浜高等学校	高等学校	1	128	0	すきなものビンゴ&わくわくエンジン発見	10
12/12	実施	島根	ゴウツ	江津市立桜江小学校	小学校	6	20	0	すきなものビンゴ&お仕事マップ	8
1/19	実施	島根	ゴウツ	江津市立江津東小学校	小学校	6	12	0	すきなものビンゴ&お仕事マップ	8
1/26	実施	島根	ゴウツ	江津市立津宮小学校	小学校	6	40	0	すきなものビンゴ&お仕事マップ	10
2/15	実施	島根	ゴウツ	江津市立川波小学校	小学校	6	12	0	すきなものビンゴ&お仕事マップ、発動ワークショップ	7
2/16	実施	島根	ゴウツ	江津市立渡津小学校	小学校	4~5	30	0	すきなものビンゴ&わくわくエンジン発見	10
2/20	実施	島根	ゴウツ	江津市立高角小学校	小学校	6	36	0	すきなものビンゴ&お仕事マップ、発動ワークショップ	10
2/22	実施	島根	ゴウツ	江津市立渡津小学校	小学校	6	15	0	すきなものビンゴ&お仕事マップ、発動ワークショップ	10
3/26	実施	滋賀	KMP	くさつ未来プロジェクト	その他	-	40	53	すきなものビンゴ&お仕事マップ	21
合計							398	73		138

3) 広報、コミュニケーション活動 <事業展開図 ⑥広報>

■ 22 年度のテーマ

- 社会の様々な立場の人をつなぎ、効果的に事業を推進できるよう広報戦略を立て執行する。
- キーパーソン 21_統合ロジックモデルをベースに、地域&組織&個が結びつき社会に一步踏み出すつながりをつくりだし（世の中の様々なプレイヤーをつなぐハブとなる）成長させていく。
- それを実施するための土壌となるリレーション/コラボレーションを拡大しつつ、全員広報として関わる人の情報発信能力を高めていく。

■ 22 年度の目標

全員広報を掲げつつ、関わるリソースが不足・変動する中、網羅性を持って明確化した ToDo を整理し、優先順位の重み付けを明確にし、実施していく。

■ 活動報告サマリ

1. オウンドメディア的発信の強化
2. メディアリレーション（パブリシティ）の実施
3. ステークホルダーとの関係性構築/ネットワーキングの実施

4. 全員広報を念頭においた広報に関するリテラシーの向上/再現性の確保

その他、サイトリニューアルや、プログラムの公開について、外部意見も収集しながら検討を実施

■実績

- アウトプット・プレスリリース 7 本（ポインタ/ベルリッツ六本木/マンスリーサポーター他）（2）
- メディア掲載：愛媛新聞／週刊教育資料(2/3)
- Facebook 投稿：70 件 その他イベント実施時に情報発信を実施(2)
- ビズテリアクラブ（各界のリーダーが集まり社会課題の解決に向けた共創を行うメディア）への定期的な参加（登壇含む）
- 全員広報をテーマにキーパーソン 21 の日開催(4)
- リクルート記事化対応（進学情報誌『保護者のためのキャリアガイダンス』）（2、4）
- プログラム公開の検討
- ホームページリニューアルの検討（現行サイトに関するアンケート実施）（1）
- coki 記事公開（福岡外語専門学校（FFLC）等(2、3)
- わくわくエンジン[®]図鑑更新(1)
- 毎月のイベント情報メール送信/プレスリリース対応(2、3)
- 誓約書、同意書リニューアル作成サポート（プログラム参加者/見学者）
- 大学生卒業イベント企画・実施サポート(1、4)
- 広報業務エントリー資料（キーパーソン 21 広報一年目資料他）の作成/利用（4）

■効果

- メディア掲載：愛媛新聞／週刊教育資料
- リレーションの獲得拡大（衆議院：笠浩史議員等）
- 広報担当者以外の発信の実施（プレスリリースなど）
- 新任広報担当者の広報業務の実施（暗黙知の形式知化と、その利用）メディア掲載や SNS、オウンドメディア（Web サイト）での定期的な露出により、一定の認知効果は獲得。内部の広報に関わる感度力量（発信したい人が適切/効果的に情報を出すことができるマインド/能力）の底上げは一定レベルで達成
- 一方、広報リソースの減少により、網羅性をもった計画の実施はできず、リソースの拡充を課題として残す結果となる

③社会参加支援事業

◆内容：学習支援、居場所づくり、及び寺子屋事業

◆日時：通年

◆場所：中原区内 2 か所（なかわく）、中原区 1 か所（こすわく）

中原区今井（寺子屋）

◆従業者数：のべ 2,231 名 [1,851 名（なかわく）、104 名（こすわく）、276 名（寺子屋）]

◆対象者（子ども）：のべ 3,528 名 [2,410 名（なかわく）、220 名（こすわく）、898 名（寺子屋）]

◆収益金額：¥ 19,676,105 費用金額：¥ 17,967,874

1) 川崎市学習支援・居場所づくり事業（通称：なかわく/こすわく） <事業展開図 ④居場所づくり>

■ 22 年度のテーマ

継続的に関わることのできる子どもを「うちの子」として、一人ひとりの変化変容と成長を中長期的にサポートし続ける

■ 22 年度の目標

コロナ禍でおやつの時間がなくなったため、子ども同士の横の繋がりが希薄になっている。サポーターが媒体となり、学校や学年が異なる子ども同士の繋がりが生まれるよう工夫したい。また、不登校生徒が増えている現実、一人でも多くの子どもが無理なく学校に行けるよう、なかわく、こすわくの枠を超えて、昼間の時間帯にこすわくを開室し、学校に行かれない生徒に寄り添う

■ 活動報告サマリ

川崎市の委託事業「（通称）なかわく」と自主事業の「（通称）こすわく」の学習支援居場所づくり事業を行った（9年目）

■ 実績

<なかわく活動報告>

◆ 学習教育(通常)

- ・サン・ライブ：週2日(火・木)開催 23名（小学生6名、中学生17名）
- ・新城：週2日(水・金)開催 30名（小学生9名、中学生21名）
- ・オンラインによる学習支援と居場所機能を充実させた
- ・中3生を対象に面接対策としてわくわくエンジン[®]発見プログラムを実施した
- ・中学3年生8名高校合格。高校3年生1名大学合格。通い続けていた生徒1名は国公立大学に合格した。

<こすわく活動報告>

◆ 学習教育(通常)

- ・目的：不得意科目克服、学校での成績アップ
- ・開催日時：週1日 17:30～18:30, 18:30～20:30
- ・回数:47 回/年
- ◆ 不登校の子どもの事情に合わせ面談及び zoom によるマンツーマン教育サポートを行った。
 - ・回数：165 回/年 うち参加 77 回
 - ・対象：参加者の年代：小6～中3 及び高校生
 - ・定員：通常学習 5 人（不登校対応 1 人ずつ）
- ・中学3年生2名高校合格。高校3年生1名大学合格。
- ・小5くらいから不登校になってしまっていた中学2年生男子は、こすわくに1年間通い、中学3年生の4月から学校に戻った。
- ・小学校に通うことが出来なかった小学6年生は、4月から中学校に毎日1時間通学できるようになった。

なかわく、こすわく共にお預かりした受験生は合格を果たした。

大学に合格した2名は大学入学後、なかわくのサポーターとなった。

2) 川崎市寺子屋事業 <事業展開図 ④居場所づくり>

■ 22 年度のテーマ

子どもたちの「やってみたい」を応援する

■ 22 年度の目標

①学習教室では、子どもたちそれぞれのわくわくエンジン[®]を発動させた活動をサポートする

②体験活動では、「○○をやってみたい子集まれ！」として、主体的に行動するという意識づけを図る

■ 活動報告サマリ

◆ 学習教室

活動の初めに子どもたちそれぞれの「やってみたいこと」を聴き、年間を通してそれを実現できるようサポートした。

それぞれの宿題を済ませたあとは、年間行事に合わせた工作や理科の実験的な工作、また、こまわし競争や凧揚げなどのお楽しみ時間を設け、子どもたちが自由に自分のやりたい活動に参加していた。

◆ 体験活動

● 6/4(土)『JAXA コズミックカレッジ』

飛行機が飛ぶ仕組みを学んだあと、空力翼艇を作り、実際に飛ばして飛んだ距離を競った。

自分が作った空力翼艇がなぜうまく飛ばなかったのか、プログラム終了後も検討している参加者も見られ、実行する→失敗する→改善する→再実行する、という体験ができる場になっていた。

● 7/2(土)『声優さんになってみたい子あつまれ！パート1』

プロの声優さんの指導のもと、台本を使ってアニメーションにアテレコをするプログラム。

アニメーションのキャラクターに合わせてせりふを言う練習をした。

● 7/9(土)『声優さんになってみたい子あつまれ！パート2』

自分に割り振られたセリフをタイミングよくマイクに向かって言って、アニメーションにせりふを録音する。

なるべくプロの現場を再現することで、実際の声優さんの仕事を垣間見ることができて、子どもたちにも大人にも刺激となった。

● 11/26(土)『イラストレーターになってみたい子あつまれ！パート1』

プロのイラストレーターから仕事の流れを紹介してもらい、それに倣って寺子屋今井が「発注者」となり、「イラストレーター」となった参加者に寺子屋今井のキャラクター制作を依頼した。

参加者には次回までにキャラクターを考えてきてもらった。

● 12/2 (土)『イラストレーターになってみたい子あつまれ！パート2』

事前に描いてきてもらった寺子屋今井キャラクターのプレゼンをした。参加者の熱い想いが伝わる作品の数々が紹介され、充実したプレゼンタイムだった。

最優秀賞は 2023 年度の寺子屋今井のキャラクターとして、チラシやスライドなどで活用される。

● 3/25(土) 演劇『グレイッシュとモモ』観劇会

今年で 5 回目となる演劇『グレイッシュとモモ』の今井小学校体育館公演。

普段使っている学校の体育館がこの日限りの劇場になる日。

プロの音響と照明が作り出す本格的な雰囲気の中、プロの役者による迫真の演技を間近に観られる貴重な機会に、「こんな本格的な演劇だとは思っていなかった」「久しぶりに生の演劇を観られて感動した」という声が聞かれた。

また劇中のダンスシーンに参加する児童や保護者を募り、事前にダンスレッスンを行った。

ダンスレッスンは、障がいの有無に関わらずみんなで楽しく踊ろう、というコンセプトのもと、インクルーシブなダンスチームと共に実施し、本番に臨み劇を盛り上げることができた。

■実績

- ◆学習（全 30 回）：参加のべ児童数 661 名
- ◆体験活動（全 6 回）参加のべ人数：児童 231 名、大人 276 名、未就学児 6 名、合計 513 名

■効果

◆学習教室

登録した子が来なくなることがほとんど無く、年度途中からの追加登録者も多かった。年度末の振り返りにおける満足度の高さから、子どもたちにとって放課後の大切な居場所になっていたことがわかった。

◆体験活動

自分が興味を持ったプログラムに主体的に参加する子が多く、熱心に活動することで多くの刺激を得て、体験活動後の日常生活でもさらに自分の興味を伸ばしていく様子が見受けられた。

④人材育成を目的とした企業、団体等への助言、研修事業

「川崎未来まちづくりプロジェクト」関連事業に関しては、①キャリアプログラムの開発、展開事業にて報告。

◆収益金額：¥25,000 費用金額：¥150

リクルートの進学総研から刊行されている冊子「高校生の保護者のためのキャリアガイダンス」の取材に応じノウハウ提供し、助言した。

⑤教育に関わる情報収集、調査研究及び発信事業 <事業展開図⑦戦略>

◆内容：「川崎未来まちづくりプロジェクト」効果測定

◆従業者人数：1名 [会員：1名（個人会員：1名）]

◆収益金額：¥0 費用金額：¥655

この効果測定にかかる他の費用は、①キャリアプログラムの開発、展開事業の中に含む。

■22年度のテーマ

定性的データに加えて定量化データで効果を測定する。わくわくを定量化することが得意の事業者と連携して、社会の課題へのソリューションとしてアピールする。

■22年度の目標

社会に共感と理解とインパクトを与えられる調査研究と発信を行う

■活動報告サマリ

法政大学教授 児美川孝一郎先生の指導を受けて、宮内中学校の効果測定を独自に行った。ほぼすべての質問にて、実施後の回答が大きくプラス、肯定的に変化。

結果

- ・「やってみたいことがあるか」、「未来の自分に希望を感じるか」では、「はっきりとある」、「とてもある」が 20 ポイント以上増加。
- ・「好きなこと・夢中になることがあるか」、「今の自分が好きか」、「自分のキャリア、人生は自分で決めたいと思うか」では、「はっきりと思う」、「とても思う」が、10 ポイント以上増加。
- ・「今の仕事は好きか」、「人生のパーパスは明確にあるか」では、「とても好き」、「はっきりとある」が、約 10 ポイント増加。

よって、生徒に対するプログラムの実施が、サポーター役として関わった大人(富士通の社員)の方々の意識、特に、意欲、自己有用感、自己肯定感、主体性に大きくプラスの影響を与えたといえる。一方、地域に対する意識のみ、事後マイナスの結果となった。(原因は不明)

⑥その他目的達成のために必要な事業

- ◆内容：会員力最大化にかかわる事業
- ◆日時：通年
- ◆場所：事務所、オンライン
- ◆従業者人数（会員）：256 名
- ◆対象者（大人）：60 名
- ◆収益金額：¥0 費用金額：¥10,327

1) 会員力最大化<事業展開図⑩エンゲージメント>

■ 22 年度のテーマ

- ・ 新規会員、既存会員とも、会員との対話を重視し、一人ひとりの主体的な活動を共創する。
- ・ 会員継続率 90%以上、新規入会 100 名を目指して！

■ 22 年度の目標

- ①新規会員、既存会員のアクティブ会員が増加する。(目標 700 名)
- ②21 年度末会員数 383 名×0.9 継続率+100 名 = 22 年度末会員数約 440 名を目指す。

■ 活動報告サマリ

- ・ 説明会 10回開催、新規会員38名
- ・ 新規入会者の入会動機に基づき、活動へのガイドやメッセージグループへの登録を実施
- ・ キーパーソン21の日 11回開催

■ 実績

3 月末会員数：正会員364名、学生会員3名、法人会員9団体
 2022年度プログラム実施への参加会員（アクティブ会員）数：年間延べ936名

(2) 営利活動に係るその他の事業

① 寄贈品、グッズなどの物品販売

特に活動実績なし

② 著作、出版物の制作・販売

特に活動実績なし

③ 会員のサークル活動支援事業

特に活動実績なし

【管理部門】

1) 財政基盤を構築する <事業展開⑥ 広報⑦ 戦略⑩ 経理⑪ エンゲージメント>

■ 22 年度のテーマ

マンスリーサポーター制度の実装

■ 22 年度の目標

マンスリーサポーター 100 名獲得

■ 活動報告サマリ

1. マンスリーサポーター制度をリリースし、募集用ランディングページを作成した。
ファンドレイジングの専門家の伴走支援を受け、ランディングページ作成などをサポートいただいた。
2. アプリ「グリーンポインタアクション」の寄付先団体として選定され、10 月～12 月の間に掲載され、寄付を受けた。
3. 川崎市子ども未来局から、自主運営の「学習支援・居場所づくり（こすわく）」に補助金を受けた。
4. 東急子ども応援プログラムに採択され、2023 年度に活用予定。
5. 神戸市からの助成金に採択され、チーム大阪兵庫による子ども支援に活用した。

■ 実績

3 月末時点でのマンスリーサポーターは 10 名

2) 組織改革・基盤強化 <事業展開⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ 総務/人事/経理>

■ 22 年度のテーマ

対話し、共創造を生み出すイノベティブな組織をめざす

■ 22 年度の目標

事業/管理/広報/戦略のチーム化により、コミュニケーションの密度を上げて、施策実行スピードを上げる。

■ 活動報告サマリ

【ガバナンス】

- 規定やルールの文書化を促進し、業務/手続きの実行スピードをあげる予定であったが、特に購入や予算費消の規定が制定できずに、追加予算が必要な度に理事会で検討することになった。

【人事・労務】

- 各領域ニーズから人の募集と円滑な引き継ぎのサポート採用が計画どおりにできなかった、特に広報の採用ができなかった。
- 人に関わる規程の継続整備と早期の雇用/業務委託契約締結、契約対象者拡大、給与規定をはじめ、人事関連の規定（就業規則、正職員給与規程、パートタイム従業員給与規定）が制定された。
- 役割期待確認の期初・中間・期末実施は、ルーチン化はできていない。
- 予算立案・業務配分・面談・契約・評価・報酬の仕組みの改良検討に関しては、給与規定のみ制定できた。

【経理・財務】

- 2022 年度予算の期初振り分け実行（決算処理負担軽減し、月次管理レベル向上できた。事業区分別や個別プロジェクトの予算管理はできなかった。）
- 月次の予実管理の継続実施とレベル向上および、四半期に一度の理事会報告を予定したが、人件費に関する報告が多く、全ての会計の予算と実績の確認はできなかった。
- 地域チームにおける会計の管理の強化（現金管理レベル向上、新規創設時の基準作りに取り組んだ）

【総務】

- 認定・条例指定の継続に向けた手順の明文化およびスケジュールの確認
- 認定および、条例指定の申請手続きをし、認定更新された。
- グッド・ガバナンス認証活用法の検討・実行、中間モニタリング対応
- 中間モニタリングは終了、23 年度の更新を申請した。
- 業務の標準化およびマニュアルの担当の工数不足により、進展無し

【事業計画管理】

- 22 年度の事業展開図の体制に基づき、四半期に一度、事業、管理、広報/プログラム開発/戦略の単位で理事会に活動報告は計画どおりに実施できた。
- 中期事業計画との整合性を見直し、次期中期事業計画の策定を検討開始した。
- 現在の中期計画を見直し、24 年度～26 年度の中期計画を作成中。

【情報管理】

- 電子文書保存ルールに則った Dropbox 内文書の保存と整理と保管ルールの改定および、その管理体制に関しては、管理体制を整え保管文書を整理した。
- 個人情報保護基本規程を見直し、法令遵守の継続的確認に関しては、外部からの問い合わせに適切に対応した。

【リスクマネジメント】

- 新たな事業活動や継続的な活動におけるリスクを半期に一度の確認を実施した。

2) 戦略を立案する <事業展開図⑩戦略>

■ 22 年度のテーマ

豊かで新しい社会の基礎となる、人間力の土台をつくる、イノベティブでサステナブルな社会創造を目指す NPO として
広く認知されるよう戦略を立てる

■ 22 年度の目標

各事業のロジックモデル計画立案と実行トレースを確実に実行。

■ 活動報告サマリ

ロジックモデルを作成した。3 ヶ月に一度の活動計画はモニタリングできた。中期事業計画の策定を開始した。

■ 実績

- 事業領域毎にロジックモデルを作成できた。
- 事業領域毎の 22 年度の活動計画を 3 か月ごとにモニタリングした。
- 現在の中期事業計画を振り返り、次期中期事業計画の策定を開始した。

以上